

令和8年度 9月号



ふようだより

台東区立富士幼稚園
園長 足立 祐子
台東区浅草 4-48-18
電話 3874-2460
fuji-yo@city.taito.tokyo.jp



心の声が、聴こえますか

園長 足立 祐子

近年は世界的異常気象と言われ、日本でも熱中症、猛暑日、ゲリラ豪雨など、夏がどんどん「今までにない」状況になっています。今回の千葉の洪水被害や熊の出現など、『今までと違う何か』を感じているのは、私だけでしょうか。そのような中で、今、私たち大人がしなければいけないことは何か、を常に考えさせられています。

子供たちの気持ち、心の声に気付くこと

小学生や中学生の子供たちだと、友達との関係、学校でのこと、家庭でのことなど、様々な悩みを抱えた時には、誰かに打ち明けたり相談に乗って共感してもらったりすることで、気持ちを立て直したり我慢したりして前へ進んでいくのだと思います。けれども、誰にも発信することができなかつたり、発信しても受け止めてもらえなかつたりして傷つき、全てを諦めて心を閉ざしてしまう子供たちも、たくさんいるように思います。そこで家族から離れ、友達から離れて孤立していくと、様々な事件の被害者にも加害者にもなり得る。その心の闇に、私たちは気付くことが出来ているのでしょうか。

幼稚園児は、今は家族とのつながりを中心に周囲の人たちとの信頼関係を築いていきます。幼稚園ではその基本的な信頼関係をもとに、社会性を育むための『友達と関わって過ごせる環境』を意図的に作っています。思い通りにならない状況の時に励まされ支えられて乗り越えた経験、みんなでやって楽しかったね、自分でも出来て満足！という達成感や満足感がもてる経験をすることで、今後の大きな社会の中での『生きる力』を育てていきたいと思っています。その中でとても大事なことは、一人一人の子供たちの気持ちに心を寄せることだと思っています。今何を考えているのか、何に悩んでいるのか、何をしたいと思っているのか…。直接聞けば、正しい答えが返ってくるわけではありません。心の声は、また、別のものなのではないかと感じています。関心をもって見つめ、日々の出来事の一つ一つの経過を知り、重ねた会話の中から推測し、声をかけた反応から確かめ、表情を見て察する。そんな中から、心の声を聴き取っていくことが出来るのだと思います。

幼稚園では、教職員が一生懸命に心の声を聴き取ります。お家でも、子供たちをよくよく見つめて、一人一人の心の声を聴き取っていきましょう。自分の気持ちを分かってくれる人がいるだけで、人は強く優しくなれるものです。

いよいよ2学期が始まります！

急に涼しくなったり、暑くなったりと不安定な時期ですが、夏の経験をもとに各学年元気に2学期をスタートいたしましょう！2学期もよろしくお願いいたします。

